

対象年度	平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名	結城蔵美館運営事業						予算事業名	結城蔵美館運営経費		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			07	01	05	1501	經常経費			
総合計画体系	3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分	主要事業		
	3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観光)									
	①地域資源を活用した観光の振興						担当課係等	商工観光課		
2交流拠点の形成								観光係		
事業期間	継続 (平成26年度～ 年度)									
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
本市の歴史・芸術文化の情報発信拠点として観光振興の一翼を担う。						平成24年度に見世蔵が市に寄贈され、芸術作品や歴史資料の展示施設として改修し、平成26年度に「結城蔵美館」として開館した。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
本蔵における本市ゆかりの芸術家の作品展、袖蔵における本市の歴史文化資料の公開という形式が完成している。						観光客及び市民				
						【事業をとりまく環境の変化】				
						市全体としての観光振興を図るうえで民間施設とのすみわけが重要になっている。				
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】				
商業観光振興計画に基づく事業展開。 緑台、看板等館外物品購入			商業観光振興計画に基づく事業展開。			商業観光振興計画に基づく事業展開。				

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	4,407	4,317			
歳入計(千円)		4,407	4,317			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	07 賃金	3,089	3,089			
	08 報償費	15	0			
	11 需用費	563	592			
	12 役務費	139	139			
	13 委託料	289	245			
	14 使用料及び賃借料	252	252			
	18 備品購入費	60	0			
歳出計(千円)(A)		4,407	4,317			
伸び率(%)			-2.04			
備考	総合計画106ページ 予算書 129ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	開館日数	日	目標	307.00	307.00	307.00
	基本開館日数を307日（365日－（週休52日＋年末年始休6日））と定義		実績	307.00	0.00	0.00
	展示作家数	組	目標	12.00	12.00	12.00
	市の企画展（ひな祭り等）を除く		実績	9.00	0.00	0.00
成果 指標	来館者数	人	目標	13,600.00	16,000.00	18,000.00
	御手杵の櫓を含む展示物の見学及び企画展の鑑賞を目的に訪れた者の人数		実績	15,845.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	歴史博物館、美術館が無い現状において当該施設の使用は必要性が高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	観光資源が多く存在する北部市街地において、観光案内機能を備えた情報発信施設としての運営、また、伝統工芸館との連携を図るうえで当面は行政主体で進めて行くことは妥当であると考えます。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	本蔵に作品を展示する作家の持ち駒も少なくなっていることに加え、袖蔵の歴史資料について、質の低下やマンネリ化を防止するためには企画・運営方法の見直しが必要な時期に来ている。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	開館以来、再雇用職員の配置が続いているが、今後の計画など総務課との調整が必要になる。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	作家の選定に関して、運営委員会が組織されているものの現在活用されておらず、配属職員に委ねられている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	取り壊しの可能性のあった蔵づくり建物を改修し、年間300日以上の開館している時点で成果であろうと思われる。また、この取り組みに対して平成28年度に国土交通大臣の表彰を受けている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	展示内容や作家選定の見直しの必要性はあるものの概ね順調な運営であると考えます。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
月替わりで本蔵の作品入れ替えを行ったことや、群馬県桐生市、静岡県島田市と御手杵の櫓を通じた交流、広域連携をしたこと、平成28年度に国土交通大臣の表彰を受けていることもあり十分評価できる。 しかしながら、袖蔵1階の展示物は、開館当初から変わっていないため、常設展示とはいえ数年に一度は別な展示物に変更できるように内容の検討を行う必要がある。（企画展を除く）			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
運営委員会の活用による展示作家の偏りやマンネリ化を防止し、円滑な運営を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） H31年度は開館5周年になるため、記念イベントを実施する。また目につく看板の設置など人を呼び込む体裁を整えていきたい。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） ・開館5周年記念事業は、「結城蔵美術館5周年記念事業」で実施する。 ・財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	